

自然体験活動幼児プログラム
45. 草原の宝さがし

1. ねらい

野外でビンゴカードを用いて、楽しみながら自然観察をすることができます。また、「白いもの」「いい匂いのするもの」など、抽象的な表現から個人の感性を引き出すことができます。自然の仕組みや自然に関する知識を楽しい雰囲気の中で身につけることをねらいとします。

2. 時期・時間・場所

- ・年間を通じて活動可能です。
- ・2時間程度
- ・活動場所は子どもの状態に応じ、範囲を設定する。
(幼児の場合は、指導者の目の届く範囲に設定することをすすめます。
1人歩きができる年齢であれば「お亀池」コースを1週する活動も可能です。)

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
ゼッケン 無線機（代表者に1台。複数必要な場合は相談要） バインダー（班に1つつつお願いします）	鉛筆 ビンゴカード （必要な分を印刷してお持ち下さい） 野外活動に適した服装 雨具（傘は不可）、水筒 など

4. 活動内容

内 容	
説明 30分	（指導者編） ○ 班編成・服装点検・人数確認・健康調査等を行います。 （1グループ 3～5人程度が良いでしょう。） ○ 各班にゼッケン、ビンゴカードを配布します。 ○ ルールの説明を行います。 ○ ゴールに戻ってくる時間設定をします。 ○ 注意事項を確認しましょう。 （危険箇所・危険行動・自然保護等について）
活動 60分	○ 一斉スタートまたは間隔をあけてのスタートも可能です。 ○ 巡回を行い、ゲームが安全に進行されているか確認しましょう。 *各班に指導者1名はつきましょ。* 【草原の宝さがし開始】 ○ ビンゴカードに書かれてあるそれぞれの項目に当てはまるものを探します。各班で行く場所を相談しながら、進めていきます。 ○ 「お亀池コース」に限定した場合は、コースにしたがって進んでいきます。 ○ 決められた時間内（およそ1時間程度。時間設定は自由に決めることができます。）にできるだけたくさんのものを見つけ、いくつビンゴが揃うのかを調べます。 【ふりかえり】 ○ どんなものがあったのか、それを見たり触ってどう感じたのかを発表します。 ・特に見せたい発見などは、みんなで確認する。

	<p>・同じ項目（例えば「赤いもの」）でも、他の班の発表を聞くことで、新たな発見をする。</p> <p>○ 答えやビンゴの数、早さを競うことが目的ではないので、振り返りの際に気をつけて発表させることが大切です。</p>
--	---

<p>整 理 30 分</p>	<p>（指導者編）</p> <p>○ ゴールに着いたグループから、ゼッケンを回収します。</p>
-----------------------------	--

5. 留意点

- （1） 事前に当所職員と実施方法等について打ち合わせをし、必ず現地踏査をしましょう。
- （2） 活動中は引率指導者間の連絡を密にし、子どもたちを常に掌握し安全と事故防止に努めましょう。
- （3） 自然を大切にし、交通ルールを守りましょう。
- （4） 答えの数やビンゴの数、早さを競うことが目的にならないよう、「事前の説明」や「ふりかえり」の際に指導者が配慮しましょう。